

実績確認概要書

平成 22 年 3 月 5 日

審査機関名 (株)JACO CDM

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	蒸気・ドレンの有効活用による省エネ事業
承認番号	JCDM-PJ0045
排出削減事業者名	株式会社 レンティック中部 伊勢原事業所
排出削減共同実施事業者名	環境経済株式会社 (その他関連事業者名：株式会社 洗陽システムソリューション)
事業実施場所	株式会社 レンティック中部 伊勢原事業所 (神奈川県伊勢原市白根 4 4 5 - 1)
事業の概要	蒸気のドレン・排熱回収、フラッシュ蒸気の利用、放熱ロス削減による CO2 削減を行う。
排出削減量の計画	608 t CO2/年 (事業実施期間合計 2,837tCO2)
国内クレジット認証期間	開始日 2008 年 8 月 1 日 (実績 2008 年 9 月 1 日) 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2008 年 9 月 1 日～2009 年 12 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	788tCO ₂ (2008年8月1日～2009年12月31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1)開始日の確認</p> <p>承認排出削減事業計画では2008年8月1日からであったが、エネルギーサービス契約書によるサービス開始日から、2008年9月1日に本事業が開始されたことを、エネルギー使用実績データ及び事業者への質問により確認した。</p> <p>2)対象期間中の設備稼働確認</p> <p>承認排出削減事業計画通り蒸気用フラッシュタンク及び保温設備が導入され稼働していることを、現地訪問及びエネルギー使用実績データより確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>1)モニタリング方法の確認</p> <p>承認排出削減事業計画に従い、燃料流量計により計測が実施されていることを確認した。</p> <p>2)活動量の正確性</p> <p>燃料供給会社からの請求書に基づき、設備担当者により適切に記録、集計、保管されていることを、質問及び記録されたデータにより確認した。</p> <p>3)単位発熱量、排出係数等の係数の確認</p> <p>排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。</p> <p>4)排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>本実績確認の対象期間の測定結果と排出削減量の算定結果を突合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、</p>

	<p>排出削減量の算定結果が正確である事を確認した。(排出削減量は、ベースラインの計算前提ではロスのお半が蒸気漏洩によるものであり、ボイラーを含む設備全体の利用効率が 100%の前提で算出されている。実際の利用効率に関しては、モニターにより蒸気使用量は常時監視されており、サービスマ報から、点検、修理記録を基に蒸気が漏洩していたと想定される日数を計算し、蒸気漏洩量を推測した結果により、エネルギー削減量を計算している。これらにより設備の効率は適切に管理、維持運用されていることを確認し、十分な妥当性を確保しているものと判断した。)</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2008 年 9 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの変更点が発生していないことを確認した。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 293.6kl であることを確認した。

以上